

平成14年度事業計画

【研究関係】

1. 造礁サンゴ関係

造礁サンゴ類の飼育技術研究

- ・卵から育てたミドリイシを1年後に100群体以上生残させる

造礁サンゴ類の増殖技術研究

- ・クシハダミドリイシの生殖細胞形成過程の研究
- ・受精卵の冷凍保存の可能性を検討する
- ・着生基盤の再検討
- ・サンゴ幼体の移植による種苗生産の可能性を検討する

2. ウミガメ関係

大岐の浜におけるウミガメ類の上陸・産卵状況と産卵場環境の研究

- ・上陸個体の甲の計測、標識の装着を行う。標識装着の際に採取される肉片からは、DNAをとることができるため、今後の研究のために肉片を保存する。
- ・広い砂浜の様々な条件下における砂中温度を計測し、ウミガメの孵化場としての環境を検討する。

幡多地域のウミガメ類の産卵場に関する研究

昨年に引き続き、幡多地域の海岸の環境を調べ、ウミガメの産卵地がどこにどの程度あるかを調べる。昨年調査できなかった浜は、調査船を使って調査する。また、調査の範囲を土佐湾側、宇和海側に広げる。浜の調査を行う中で、地元の人から現在及び過去のウミガメの上陸・産卵状況について聞き取り調査を行う。

ウミガメの情報を交換し合えるような、ウミガメ情報ネットワークを作る

大敷網に混獲されるウミガメの調査

混獲され生きている個体は、甲長を測定、標識を装着し放流する。混獲され死んでしまった個体は、解剖し胃内容物を調べる。消化管内から採取した海藻を同定し、幡多地域の海藻相との関係を考察する。胃内容物は保存する。

3. 動植物相関係

幡多地域の海岸植物相に関する研究

海岸の環境と海岸植物相の関係を検討する。

幡多地域の海藻相調査

鹿児島大学の野呂先生を招聘し、研究所との共同調査を行う。収集した標本は整理して保管し、種リストを作成し、公表する。

大月町海域の海棲動物相調査

情報や標本の収集・整理に努める。

4. その他

ヒメアサリの産卵生態に関する研究

- ・2001年度より継続。西泊地先に生息する二枚貝「ヒメアサリ」の生殖周期や生殖細胞の形成過程について研究する

水槽内の物理環境を制御するための様々な仕掛けを考案、製作し、様々な環境で生活する生き物を飼育できるようにする

- ・水流の制御：造流装置の開発
- ・様々な材質を利用して水槽の底質や壁面に擬岩を作成し、石や砂では実現不可能な機能を持たせることができないか、可能性を模索する。

【啓蒙・広報活動】

1. 和文機関誌「CURRENT」の発行継続（季刊：4, 7, 10, 1月）
2. 英文機関誌「Bulletin of the Biological Institute on Kuroshio(仮称)」の創刊（年1回秋頃）
3. ホームページの運用
4. 小学生対象のサマースクール開催（7~8月）
5. 学校教育における「総合的な学習」への協力
6. 研究所の活動を紹介するビデオの作成・上映会の開催